

## KP40H 停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

### 安全上のご注意

#### ●安全に使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、パワーコンディショナを安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ずお守りください。

表示と記号は次のとおりです。



### 警告

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。

#### ●図記号の説明



#### ●一般的な指示

特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

### 警告

停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。

接続に際しては突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。

次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。

・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器

・パソコン、ワープロなどの情報機器

・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器

停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。



自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカーを OFF してください。

万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。



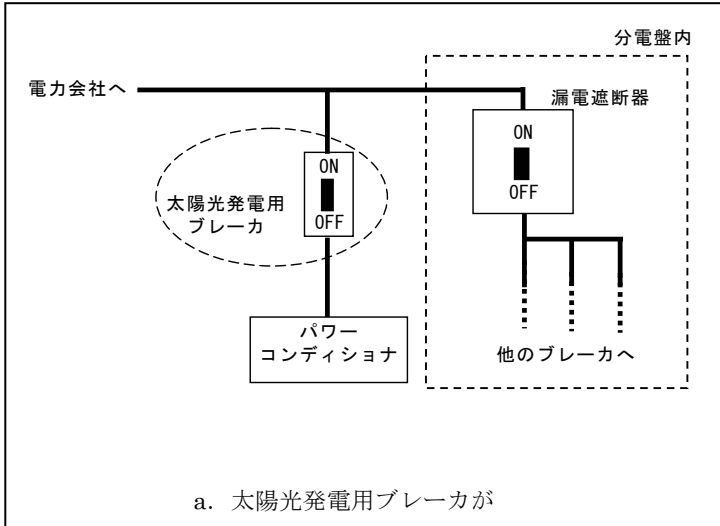
### 使用上の注意

- (1) 夕方、夜間、早朝などの太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。
- (2) 停電中でパワーコンディショナ発電を行う場合は、パワーコンディショナの停電用コンセント（以下、自立コンセント）に使用目的の電気製品のプラグをつなぎかえてください。
- (3) パワーコンディショナの自立コンセントに接続できる容量は天候によって変化します。  
停止する場合は、自立コンセントに接続した電気製品を減らしてください。  
（最大 1.5kVA:AC100V, 15A 未満）
- (4) モーター内蔵機器（掃除機、冷蔵庫等）を接続すると、急激な電流が流れるため、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。
- (5) 太陽が昇っている間でもしか発電しませんので、停電が復旧した場合は、電気製品のプラグをパワーコンディショナ自立コンセントから家庭用コンセントにつなぎかえて、手順に沿って自立運転モードから連系運転モードに切り替えてください。  
特に電気冷蔵庫などの使用は、長時間放置されると中の食品に問題が出る可能性があるのでご注意ください。
- (6) 自立運転中での売電はできませんので、停電が復旧した場合は、手順に沿って自立運転モードから連系運転モードに切り替えてください。

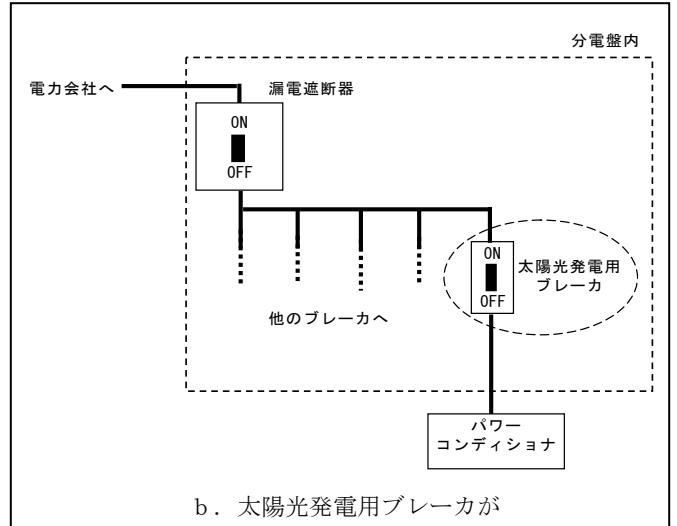
□ 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法(停電時)

自立運転とは、停電などにより電力会社から電力が供給停止された場合、太陽光に応じて太陽電池が発電した電力を停電用コンセントに供給します。最大で 1.5kVA(AC100V 最大 15A)です。

① 太陽光発電用ブレーカを‘オフ’にしてください。



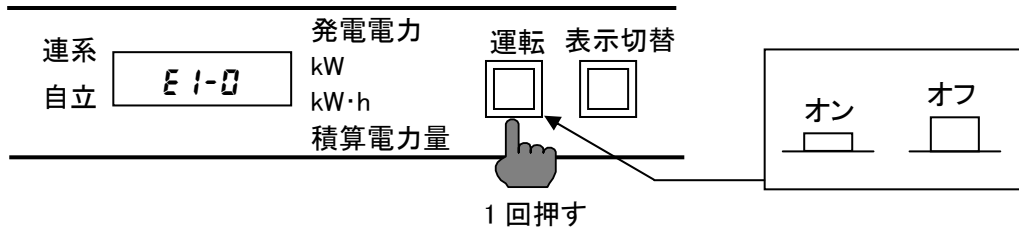
a. 太陽光発電用ブレーカが分電盤外部にある場合



b. 太陽光発電用ブレーカが分電盤内部にある場合

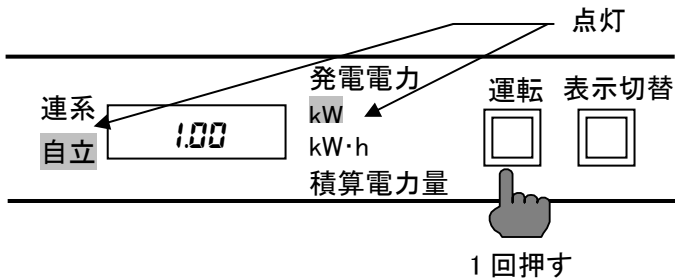
② 運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



③ 運転スイッチを‘オン’にしてください。

数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します。



④ 自立運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。

● 自立運転モード時、表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力を表示します。

停電用コンセントに何も接続していない場合、表示部には「0.00~0.04」を表示します。

● 翌朝に停電が回復していない場合、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にすると自立運転を開始します。

## 重要

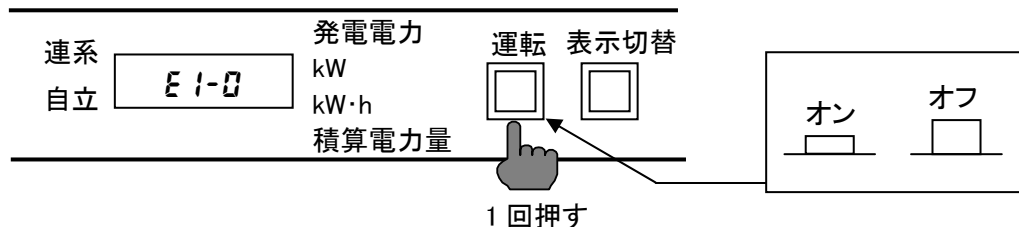
- (1) 夕方、夜間、早朝などの太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。
- (2) 停電用コンセントに使用したい機器を接続してください。  
また、接続する機器の最大電力は 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。
- (3) 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。
  - 保護機能が働き停止した場合
    - ① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。
    - ② 停電用コンセントに接続している電気製品を減らしてください。
    - ③ 運転スイッチを再度‘オン’にしてください。
- (4) 夜間、または天候による変化で太陽電池の発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。  
自立運転を再開させる場合は、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。

### □ 自立運転モードから連系運転モードへの切替方法(復電時)

- ① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



- ② 太陽光発電用ブレーカを‘オン’にしてください。

- ③ 運転スイッチを‘オン’にしてください。

カウントダウン終了後に連系ランプが点灯し、連系運転を開始します。

